

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名				
1	給付金加算等措置	原子力発電施設周辺地域加算給付金交付事業				
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市				
補助事業実施場所		いちき串木野市 羽島・荒川地区				
補助事業の概要		小売電気業者等から電気の供給を受けている一般家庭、工場等に対する給付金				
補助事業に関する主要政策・施策と目標		小売電気事業者等から電気の供給を受けている住民・企業等に給付金を交付することで、原子力関連施設の設置・運転の理解促進を図るとともに、地域住民の福祉の向上を図りました。				
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
補助金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度
			成果実績			
			目標値			
			達成度			
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	補助事業の定性的な成果及び評価等					
	当該地区の電灯需要家及び電力需要家に対して、従来の原子力立地給付金に加算(電灯需要家1戸あたり250円・電力需要家1kWあたり63円)することで、住民の不均衡感を取り除き、地区住民の生活の安定を確保するとともに、原子力発電の必要性についての理解につながり、地域住民の福祉の向上を図ることができました。 加算給付金交付実績 ・電灯需要家3,582,000円(250円×14,328戸) ・電力需要家1,038,198円 ① 1kWあたり(63円×16,480kW=1,038,240円) ② 0.5kW減額調整(0.5円×7口×12月=42.0円) ③ ①-②(1,038,240円-42円=1,038,198円)					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
補助事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	加算給付金の給付額 (電灯需要家契約口数×250円+電力需要家契約kW数×63円)	活動実績	円	4,777,959	4,605,675	4,620,198
		活動見込	円	5,445,141	5,299,689	5,275,689
		達成度	%	87.7%	86.9%	87.6%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考	
総事業費		5,699,652	5,564,974	5,405,660	16,670,286円(3力年計)	
補助金充当額		5,699,652	5,564,974	5,405,660		
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		5,699,652	5,564,974	5,405,660		
補助事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
加算給付金の交付		随意契約(特命)		一般財団法人 電源地域振興センター(東京都中央区日本橋)		5,405,660
補助事業の担当課室		いちき串木野市企画政策課				
補助事業の評価課室		いちき串木野市企画政策課				

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉バス更新事業						
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市						
補助事業実施場所		いちき串木野市昭和通						
補助事業の概要		<p>高齢者クラブの研修と、それに伴う福祉バスの運行は、年間を通して160件、延べ2,846人(平成30年度)となっており、当活動は高齢者福祉に一定程度寄与しています。</p> <p>しかしながら、現行のバスは平成15年8月から運行しているもので、令和2年3月末で16年を経過し、走行距離も22万7千kmを超えており老朽が進んでおり、専任の運転手により、定期的な点検整備を実施していますが、駆動系統並びに制御系統の部品の経年劣化による故障が頻発しており、運行中に機関が急停止するなど、利用者の安全性についての課題があることから、福祉バスの更新を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中型バス 乗車定員:41人 1台 ・全長8,990mm 全幅2,340mm、全高3,035mm ・直列4気筒 総排気量5,123cm ・6速AMT ・クラウチングシステム車高調 						
補助事業に関係する主要政策・施策と目標		<p>いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度～令和3年度) 第2部 基本計画 第2章 健康で文化的な生活を営める「元気で安心できるまちづくり」 第2節 保健・医療・福祉 4) 高齢者福祉の充実 主要施策 (3)高齢者の生きがいと社会参加の促進 ①高齢者クラブ等の運営・活動支援 目標:高齢者クラブ数 54クラブ(平成28年度)→57クラブ(令和3年度)</p>						
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度			
事業期間の設定理由								
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度		
		研修への満足度 80%以上	アンケート調査による	成果実績	%	80		
				目標値	%			
				達成度	%			
		評価年度の設定理由						
		事業実施後、翌年度の実績により評価を実施するため。						
		補助事業の定性的な成果及び評価等						
<p>本事業において、福祉バスを更新したことにより、バスの運行時における安心安全の確保につながるものと考えます。</p> <p>今後、この整備されたバスを活用することにより、高齢者福祉の向上を目指します。</p> <p>「研修への満足度」については、令和4年度に改めて達成度合いを測定する予定です。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		福祉バスの更新台数		活動実績	台	—	—	1
				活動見込	台	—	—	1
				達成度	%	—	—	100.0%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費		0	0	15,510,000				
補助金充当額		0	0	15,510,000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分		0	0	15,510,000				
補助事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
福祉バスの更新		指名競争入札		いすゞ自動車九州株式会社川内支店(薩摩川内市)		15,510,000		
補助事業の担当課室		いちき串木野市福祉課						
補助事業の評価課室		いちき串木野市福祉課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道島平野元線道路改良事業						
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市						
補助事業実施場所		いちき串木野市西島平町地内						
補助事業の概要		市道島平野元線は、近年、海の駅の開業により交通量が増加しました。路面等の老朽化に伴い、近隣の住宅では、大型車両の通行時に大きな振動が発生していることから、改修事業に補助金を充当し、舗装等の整備を行い、住環境の改善を図りました。 (事業量) 施工延長 L=356m W=6.3~10.15m A=2,251㎡						
補助事業に関する主要政策・施策と目標		いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度~令和3年度) 第2部 基本計画 第4章 利便性が高く美しいまちを創造する「快適な環境のまちづくり」 第1節 社会基盤 1) 道路・交通網の整備 1)-1 道路 基本的方向 市道については、周辺部への配慮や地域間の交流、円滑な移動の実現を目指し、集落間のネットワーク道路として計画的な整備を図るとともに市外地内の老朽化した側溝及び舗装の整備を行います。 主要施策 (2)生活道路の充実 ①生活道路の改良及び整備改修(側溝・舗装)						
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度			
事業期間の設定理由								
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年		
		市道島平野元線における安全に通行できる道路の割合 100%	安全に通行できる道路延長/路線延長× 100	成果実績	%	100		
				目標値	%	100		
				達成度	%	100		
		評価年度の設定理由						
		事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。						
		補助事業の定性的な成果及び評価等						
当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。 今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		市道島平野元線における道路整備延長		活動実績	m	-	-	356
				活動見込	m	-	-	354
		達成度	%	-	-	100.6%		
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費		0	0	16,020,000				
補助金充当額		0	0	15,300,000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分		0	0	15,300,000				
補助事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
市道島平野元線道路改良工事		条件付き一般競争入札		(有)芹ヶ野建設(いちき串木野市)		16,020,000		
市道島平野元線道路改良工事(うち路面切削工)		(有)芹ヶ野建設の請負先		オーシャンロード(株)(鹿児島市)		1,498,200		
市道島平野元線道路改良工事(うち舗装切断工、区画線設置工)		(有)芹ヶ野建設の請負先		(株)南九州テクニス(薩摩川内市)		1,210,000		
市道島平野元線道路改良工事(うち舗装工)		(有)芹ヶ野建設の請負先		(株)東郷建設(薩摩川内市)		5,830,000		
		計				16,020,000		
補助事業の担当課室		いちき串木野市都市建設課						
補助事業の評価課室		いちき串木野市都市建設課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道浦和町1号線道路改良事業						
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市						
補助事業実施場所		いちき串木野市浦和町地内						
補助事業の概要		<p>市道浦和町1号線(その他市道)は、主要地方道串木野港線に隣接し、1級市道浜田通線にも接続していることから、地域住民の生活道路として重要な役割を果たしていますが、路面や側溝の劣化が進行しており、歩行者等の通行に支障をきたしています。振動や交通安全対策等市民の福祉の向上を図り、市民の安全な生活を確保するため、道路整備(排水工・舗装工)に補助金を充当しました。</p> <p>市道浦和町1号線:施工延長 L=152m W=3.24~8.74m A=538㎡ 排水工(落蓋250型) L=31m、排水工(落蓋300型) L=48m</p>						
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度~令和3年度) 第2部 基本計画 第4章 利便性が高く美しいまちを創造する「快適な環境のまちづくり」 第1節 社会基盤 1) 道路・交通網の整備 1)-1 道路 基本的方向 市道については、周辺部への配慮や地域間の交流、円滑な移動の実現を目指し、集落間のネットワーク道路として計画的な整備を図るとともに市外地内の老朽化した側溝及び舗装の整備を行います。 主要施策 (2)生活道路の充実 ①生活道路の改良及び整備改修(側溝・舗装)</p>						
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度			
事業期間の設定理由								
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度		
		市道浦和町1号線における安全に通行できる道路の割合100%	安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%	100		
				目標値	%	100		
				達成度	%	100		
		評価年度の設定理由						
		事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。						
		補助事業の定性的な成果及び評価等						
<p>当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。 今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		市道浦和町1号線における道路整備延長		活動実績	m	-	-	152
				活動見込	m	-	-	152
				達成度	%	-	-	100.0%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費		0	0	8,610,000				
補助金充当額		0	0	8,000,000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分		0	0	8,000,000				
補助事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
市道浦和町1号線道路改良工事		条件付き一般競争入札		(有)福蘭建設(いちき串木野市)		8,610,000		
市道浦和町1号線道路改良工事(うち舗装工)		(有)福蘭建設の請負先		(株)濱田組(薩摩川内市)		1,188,000		
		計				8,610,000		
補助事業の担当課室		いちき串木野市都市建設課						
補助事業の評価課室		いちき串木野市都市建設課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道桜町1号線外道路改良事業					
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市					
補助事業実施場所		いちき串木野市桜町地内					
補助事業の概要		<p>市道桜町1号線外(その他市道)は、2級市道桜通線に隣接しており、公民館も近接していることから、地域住民の生活道路として重要な役割を果たしていますが、路面や側溝の劣化が進行しており、併せて既存の側溝がU型側溝(開口型)であることから、歩行者等の通行に支障をきたしています。振動や交通安全対策等市民の福祉の向上を図り、市民の安全な生活を確保するため、道路整備(排水工・舗装工)に補助金を充当しました。</p> <p>市道桜町1号線外:施工延長 L=157m W=5.94~11.7m A=781㎡ 排水工(落蓋300型) L=249m、排水工(落蓋400型) L=38m</p>					
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度~令和3年度) 第2部 基本計画 第4章 利便性が高く美しいまちを創造する「快適な環境のまちづくり」 第1節 社会基盤 1) 道路・交通網の整備 1)-1 道路 基本的方向 市道については、周辺部への配慮や地域間の交流、円滑な移動の実現を目指し、集落間のネットワーク道路として計画的な整備を図るとともに市外地内の老朽化した側溝及び舗装の整備を行います。 主要施策 (2)生活道路の充実 ①生活道路の改良及び整備改修(側溝・舗装)</p>					
事業開始年度		令和2年度		事業終了(予定)年度			
事業期間の設定理由		令和2年度					
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
		市道桜町1号線外における安全に通行できる道路の割合100%	安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%	100	
				目標値	%	100	
				達成度	%	100	
		評価年度の設定理由					
		事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。					
		補助事業の定性的な成果及び評価等					
<p>当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。 今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		市道桜町1号線外における道路整備延長	活動実績	m	-	-	157
			活動見込	m	-	-	157
			達成度	%	-	-	100.0%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費				20,400,000			
補助金充当額				19,000,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分				19,000,000			
補助事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
市道桜町1号線外道路改良工事		条件付き一般競争入札		株マリン工業(いちき串木野市)		20,400,000	
市道桜町1号線外道路改良工事(うち舗装工)		株マリン工業の請負先		株濱田組(薩摩川内市)		1,089,000	
		計				20,400,000	
補助事業の担当課室		いちき串木野市都市建設課					
補助事業の評価課室		いちき串木野市都市建設課					

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道塩屋町2号線道路改良事業					
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市					
補助事業実施場所		いちき串木野市塩屋町地内					
補助事業の概要		<p>市道塩屋町2号線(その他市道)は、1級市道島平・野元線に接続し、沿線には市営住宅もあることから、地域住民の生活道路として重要な役割を果たしています。路面や側溝の劣化が進行しており、併せて既存の側溝がU型側溝(開口型)であることから、歩行者等の通行に支障をきたしています。振動や交通安全対策等市民の福祉の向上を図り、市民の安全な生活を確保するため、道路整備(排水工・舗装工)に補助金を充当しました。</p> <p>市道塩屋町2号線:施工延長 L=136m W=5.94~12m A=700㎡ 排水工(落蓋300型) L=241m</p>					
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度~令和3年度) 第2部 基本計画 第4章 利便性が高く美しいまちを創造する「快適な環境のまちづくり」 第1節 社会基盤 1) 道路・交通網の整備 1)-1 道路 基本的方向 市道については、周辺部への配慮や地域間の交流、円滑な移動の実現を目指し、集落間のネットワーク道路として計画的な整備を図るとともに市外地内の老朽化した側溝及び舗装の整備を行います。 主要施策 (2)生活道路の充実 ①生活道路の改良及び整備改修(側溝・舗装)</p>					
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度		
事業期間の設定理由							
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
		市道塩屋町2号線における安全に通行できる道路の割合100%	安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%	100	
				目標値	%	100	
				達成度	%	100	
		評価年度の設定理由					
		事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。					
		補助事業の定性的な成果及び評価等					
当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		市道塩屋町2号線における道路整備延長	活動実績	m	-	-	136
			活動見込	m	-	-	136
			達成度	%	-	-	100.0%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費		0	0	16,690,000			
補助金充当額		0	0	16,200,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		0	0	16,200,000			
補助事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
市道塩屋町2号線道路改良工事		条件付き一般競争入札		(有)芹ヶ野建設(いちき串木野市)		16,690,000	
市道塩屋町2号線道路改良工事(うち土工)		(有)芹ヶ野建設の請負先		株フラスト(いちき串木野市)		1,140,700	
市道塩屋町2号線道路改良工事(うち舗装工)		(有)芹ヶ野建設の請負先		株東郷建設(薩摩川内市)		1,870,000	
		計				16,690,000	
補助事業の担当課室		いちき串木野市都市建設課					
補助事業の評価課室		いちき串木野市都市建設課					

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道春日・曙町1号線道路改良事業						
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市						
補助事業実施場所		いちき串木野市春日町地内						
補助事業の概要		<p>市道春日・曙町1号線(その他市道)は、主要地方道串木野港線に隣接し、串木野駅も近接していることから、地域住民の生活道路として重要な役割を果たしています。路面や側溝の劣化が進行しており、併せて既存の側溝が一部開口型であることから、歩行者等の通行に支障をきたしています。振動や交通安全対策等市民の福祉の向上を図り、市民の安全な生活を確保するため、道路整備(排水工・舗装工)に補助金を充当しました。</p> <p>市道春日・曙町1号線:施工延長 L=86m W=5.8~11.33m A=396㎡ 排水工(落蓋300型) L=168m</p>						
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度~令和3年度) 第2部 基本計画 第4章 利便性が高く美しいまちを創造する「快適な環境のまちづくり」 第1節 社会基盤 1) 道路・交通網の整備 1)-1 道路 基本的方向 市道については、周辺部への配慮や地域間の交流、円滑な移動の実現を目指し、集落間のネットワーク道路として計画的な整備を図るとともに市外地内の老朽化した側溝及び舗装の整備を行います。 主要施策 (2)生活道路の充実 ①生活道路の改良及び整備改修(側溝・舗装)</p>						
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度			
事業期間の設定理由								
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度		
		市道春日・曙町1号線における安全に通行できる道路の割合100%	安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%	100		
				目標値	%	100		
				達成度	%	100		
		評価年度の設定理由						
		事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。						
		補助事業の定性的な成果及び評価等						
<p>当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。 今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		市道春日・曙町1号線における道路整備延長		活動実績	m	-	-	86
				活動見込	m	-	-	86
				達成度	%	-	-	100.0%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費		0	0	10,439,000				
補助金充当額		0	0	9,800,000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分		0	0	9,800,000				
補助事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
市道春日・曙町1号線道路改良		条件付き一般競争入札		有限会社 坂口組(いちき串木野市)		10,439,000		
補助事業の担当課室		いちき串木野市都市建設課						
補助事業の評価課室		いちき串木野市都市建設課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	串木野環境センターパワーショベル更新事業						
補助事業者名又は間接補助事業者名		いちき串木野市						
補助事業実施場所		いちき串木野市冠嶽						
補助事業の概要		<p>一般廃棄物の焼却処分機能を有する串木野環境センターには、令和元年度実績で市内全域から3,672件、延べ約600tの量の草木が搬入されており、場内での積込み、仮置き、移動等の作業は全て1台のパワーショベルで行っています。また、環境センターでは、量の調整をしながら一般廃棄物の焼却処理を行う必要があり、一旦運び込まれた草木は一時貯留され、日々、適量を焼却炉に運搬し処分を行っています。このような、積込み、仮置き、運搬等の作業にパワーショベルは欠かせず、重要な役割を担っていますが、現行機は、令和元年度末の時点で22年が経過し、経年劣化により故障が頻発しており、業務に支障をきたしていた為、更新を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーショベル 一台 ・運転質量 7.0t以上 ・エンジン形式 直噴ディーゼル ・定格出力 40.0kW以上 ・標準バケット容量 0.3m³程度 ・全長6m以下 全幅2.4m以下 全高2.8m以下 ・機械式フォーククロー付属 						
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>いちき串木野市第2次総合計画(前期計画)(平成29年度～令和3年度) 第2部 基本計画 第2章 健康で文化的な生活を営める「元気で安心できるまちづくり」 第1節 生活環境 2) ごみ処理の充実 基本的方向 (1)市民への資源物分別収集の啓発など、ごみの減量化及び再資源化の促進に積極的に取り組みます。 指標:令和29年度基準→令和3年度目標 ・リサイクル率(11.6%→20%) ・1人1日当たりのごみの排出量(960g→900g)</p>						
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度			
事業期間の設定理由								
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度		
		草木の年間処理量 600t	年間搬入量 に対する処理 量 (年間実績)	成果実績	t	600		
				目標値	t			
				達成度	%			
		評価年度の設定理由						
		事業実施後、令和3年度の実績により評価を実施するため。						
		補助事業の定性的な成果及び評価等						
<p>当事業において、パワーショベルを更新したことで、一般廃棄物処分場での草木の積込みや運搬に係る作業効率が向上したものと考えられます。 今後、この整備されたパワーショベルを活用することにより、市民の生活環境の向上に努めます。 「草木の年間処理量」については、令和4年度に改めて達成度合いを測定する予定です。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
補助事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		パワーショベルの更新台数		活動実績	台	—	—	1
				活動見込	台	—	—	1
				達成度	%	—	—	100.0%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費		0	0	7,403,000				
補助金充当額		0	0	7,403,000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分		0	0	7,403,000				
補助事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
串木野環境センターパワーショベル更新		指名競争入札		南国殖産株式会社 川内支店(薩摩川内市)		7,403,000		
補助事業の担当課室		いちき串木野市市民生活課						
補助事業の評価課室		いちき串木野市市民生活課						